

広報 みぶ

No.608

2010

1

壬生照らす
新年の輝き

主な内容

- 新年のごあいさつ 2～3
- みんなで築こう人権の世紀 4～5

ごあいさつ



壬生町長
清水 英世

新年明けましておめでとう
ございます。町民の皆様には、
希望に満ちた平成22年の新春
を、清々しくお迎えのことと
お慶び申し上げます。

昨年は、「百年に一度」と
言われる世界的な経済恐慌に
好転の兆しが見られない中、
新型インフルエンザが猛威を
振るうなど、世情の安定しな
い一年間でした。そのような
状況下におきましても、町民
並びに議員の皆様からの温か
いご支援、ご協力により、各
般にわたる施策を円滑に推進
することが出来ましたことに、
心から御礼を申し上げます。

また、昨年は本町が明治22
年に町制を施行してから、1
20周年という節目の年でも
ありました。お蔭様をもちま
して、町制施行120周年と
いう記念すべき年に相応しい
事業を、滞りなく実施するこ
とが出来たと思っております。
昨年の主な事業を振り返っ

てみますと、まず、10月に、
念願の「みぶハイウェイパー
ク」をオープンすることが出
来ました。ご承知の通り、同
公園は、高速道路からも一般
道路からも利用できる、ハイ
ウェイオアシスとなっております。

開場は、実に全国で26番目、
栃木県内では初ということで、
本町まちおこしの一大拠点に
なるものと確信いたしております。
今後は、同公園内にあり
る「みらい館」などを有効に活
用して、壬生の壬力（壬生の
力の総称）魅力・活力・地域
力・住民力等々）を全国に向
け発信することにより、さら
なる町内産業の活性化や文化
の振興等に繋がるものと大き
い期待をしております。

次に、現下の最大の課題で
ある「新型インフルエンザ対策」
につきましても、町議会のご
理解を得て、他市町に先駆け
ていち早く予防接種の助成制

度を設けることが出来ました。
さらに、子育て支援策とし
て、こども医療費助成事業の
中学3年生までの拡大や妊婦
一般健診公費負担を14回実施
するなど、新たにスタート
させたところでです。

なお、5期目の最大の課題
の一つでありました、六美地
区雨水排水対策事業にも着手
することが出来ました。

以上のように、様々な課題
に的確に対応し、着実な事業
推進が出来ましたことに、関
係各位に対し心から感謝を申
し上げる次第です。

さて、私は昨年12月の定例
議会におきまして、町長職を
今期限りで引退し、次期町長
選挙には出馬しないことを表
明いたしました。

5期20年を顧みますと、住
民の皆様並びに議員各位のご
協力とご支援により、様々な
事業に取り組むことが出来ま
した。

まず、就任当初から豊かな
緑に恵まれたやすらぎの街を
実現するため、「夢と活力にあ
ふれた緑園都市・みぶ」をま
ちづくりの目標に掲げ、総合
公園や東雲公園など都市公園
の整備に努力してまいりまし
た。

また、まちづくりの原動力
は道づくりであるとの思いか
ら、国・県の支援を得ながら
道路整備にも力を注ぎました。

町道のみならず宇都宮栃木
線や上田壬生線など、県道整

備も推進することが出来まし
た。特に、蘭学通りは栃木市
に次いで電線の地中化方式に
より、整備することが出来ま
した。

子育て支援策につきまして
も、保育園及び幼稚園に係る
第3子保育料の無料化など、
県内でも屈指の子育て支援事
業の充実を誇っております。

また、国内外から一流の音
楽家を招聘したコンサートを
開催し、クラシック音楽によ
るまちづくりを推進いたしま
した。過日、壬生中学校と南
犬飼中学校の生徒さんによる、
吹奏楽のコンサートを拝見さ
せていただきましたが、着実
にその成果が現れていると大
変嬉しく思いました。

さらには、「国民文化祭」「全
国都市緑化フェア」「とちぎ
ファームフェスタ2005」
三度全国的なイベントを本町
に招致することが出来ました。

全国から大勢のお客様をお
迎えし、全国津々浦々に本町
の名をPRすることが出来た
のではと思っております。こ
れらの取組が、今日の「壬力溢
れる「みぶ」の礎となってい
るものと、確信いたしております。

そして、何よりも本町の財
政状況は、借入金の返済割合
を示す実質公債費比率が県内
第1位と最も低い値にあり、
将来負担比率は、将来負担額
より償還財源が多いことから
算定対象外という、高い健全

性を堅持いたしております。
先輩方から引き継いだ、本町
の健全財政路線を維持出来ま
したことを、心から誇りに思
っております。

ここに改めまして、5期20
年に亘り、議員各位並びに住
民の皆様のご支援ご協力によ
り、各種事業を滞りなく推進
でき職務を全う出来ましたこ
とに対し、厚く御礼を申し上げ
ます。

なお、町長職の引退は表明
いたしました。次代を担う
子や孫に自信を持って引き継
ぐことの出来る「壬力あるま
ちづくり」が、私たちに課せ
られた最大の責務であると思
えております。そして、行政
の運営は、川の流れの如く一
時も停滞することは許されま
せん。折しも、町執行部では、
平成22年度予算編成作業の
真只中です。予算編成の中
でしっかりと将来を見据えた
議論をし、3月定例議会には、
私の在任中の成果を継続して
いただけるような、責任のあ
る予算案を提案したいと考
えております。最後の最後まで、
全力で使命を全うする覚悟で
すので、引き続きのご支援を
お願いする次第です。

結びに、町民の皆様には、
「活力と創意が生きる希望に
満ちたまち・みぶ」の実現の
ため、町政への変わらぬご支
援並びにご協力を、心からお
願い申し上げます。年頭の
挨拶とさせていただきます。

新年の

新年あけましておめでと
うございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい平成22年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。年頭に当たり、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方には、日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、メキシコに端を発した新型コロナウイルスの感染が世界各国に広がり、我が国においても学校などを中心に集団感染が頻発し、まだ終息に至っておりません。本県においても例外ではなく、各小中学校では、文化祭や修学旅行を中止したり、学校・学級閉鎖を実施するなど、感染の

拡大防止に苦慮しております。その結果、規定の授業時間の確保が困難になるなど、事後の対応に迫られたところも数多くあったようです。

スポーツ面では、海外で活躍する日本人選手が目立ちました。

ゴルフでは、高校生の石川遼選手がマスターズという夢の舞台を踏み、国内では最年少で賞金王を獲得、宮里藍選手がアメリカツアーで初優勝、大リーグではマリナーズのイチロー外野手が、史上初の9年連続200本安打を達成し、アメリカ野球の歴史に新しい1ページを刻みました。さらにワールドシリーズでヤンキースを27回目の優勝へと導いた松井秀喜選手が、日本人初の最優秀選手賞(MVP)を受賞いたしました。松井選手が優勝パレードにおいて、10



壬生町議会議長
細井 敬一

0万のヤンキースファンから祝福される姿は、我々日本人に夢と希望を与えてくれました。

一方、町の施策に目を転じてみますと、昨年には北関東自動車道壬生PAに隣接して整備を進めていた、県内初のハイウェイオアシスである「みぶハイウェイパーク」がオープンいたしました。同時に「みぶハイウェイパーク」と「ちぎわんぱく公園」、「壬生町総合公園」からなる52.4haを、国土交通省において道の駅として登録していただくことができました。今後は、このエリアがまちづくりの核として、大いに活用されるものと期待しております。

次に、新型コロナウイルス感染症「対策」につきましては、経済的負担の軽減と感染拡大の防止につなげたいと、妊婦や小中学生を対象にしたワクチン接種に対する助成を、近隣市町に先駆けて開始いたしました。

また、現在は「100年に一度」ともいわれる大不況から、未だ抜け出せない状況です。従いまして、現下の最大の課題は、この大不況からの回復であると思います。議会といたしましては、町執行部と手を携えながら、町民の皆さまが安定した生活を継続して営むことができるよう、努

力して参りたいと考えております。

なお、本町議会におきましては、従前から議員定数の削減や議会の活性化など、議会改革に積極的に取り組んで参りました。昨年は、行政改革の一環として、定例会の一般質問に従来の全部課長出席から、質問内容に応じ所管の部課長のみが出席する形式に改めました。質問内容に関連がない課長は、通常業務に従事することができるということで、住民サービスの向上につながるものと考えております。

また、議会機能の更なる強化策として、町が設置する審議会委員等への就任の見直しや、議員が兼務する各種委員職への報酬等の原則廃止などを、町執行部に要請したところでもあります。このようなことから、議会と執行部のより一層望ましい在り方が、構築されていくものと思われま

す。今後も、町議会議員一同、開かれた議会を目指して、更なる改革を実行して参る所存ですので、一層のご理解をお願いいたします。

さて時代は今、少子高齢化、そして人口減少という歴史上かつてない大転換期を迎えております。さらには戦後最悪の経済危機といわれる中、当町においても厳しい行財政の

運営が今後も続くものと思われま

す。同時に、時代のニーズに即した町民サービスの提供が、これまで以上に強く求められてくるものと思われま

す。私も議会人として、私ども議会人として、歴史と文化に恵まれた壬生町を、次代を担う方々にしっかりと引き継ぐことが、責務であると考えております。

新年を機に、「活力と創意が生きる希望に満ちたまち・みぶ」の創出に向け、住民の皆様とともに、より豊かな住み良いまちづくりを目指して参りたいとの思いを新たにいたしました。

我々議員は、本年4月15日を持ちまして任期満了となり、一つの区切りを迎えます。過去4年間、町議会運営に特段のご支援ご協力を賜りましたことに、心からお礼申し上げます。なお、残されました期間も、精一杯頑張つて参る所存でございますので、引き続きのご支援をお願い申し上げますとともに、新体制による議会活動にも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、壬生町の限らない繁栄と皆様方にとって本年が飛躍の年になりますことを、心からご祈念申し上げます。心からご祈念申し上げます。

みんなで作ろう人権の世紀

—考えよう 相手の気持ち・育てよう 思いやりの心—

人権書道・人権作文コンテスト

人権尊重の重要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を培うことを目的として、宇都宮地方事務局・栃木県人権擁護委員連合会・栃木人権擁護委員協議会では、例年小・中学生に人権に関する書道・作文をお願いします。小学生人権書道、中学生人権作文コンテストで優秀な成績を収めた児童・生徒並びに作品の一部を紹介します。

人権書道

●最優秀賞

壬生北小学校4年

森田 実希



●最優秀賞

壬生北小学校5年

刀川 仁来



●最優秀賞

壬生北小学校6年

森田 有加里



●優秀賞

学校名	学年	氏名	課題
陸小学校	3年	青木 憲宗	ともだち
壬生小学校	4年	入江 甫	思いやり
壬生小学校	5年	大垣 海都	自由平等
壬生小学校	6年	関口 茉奈	人権尊重

●奨励賞

学校名	学年	氏名	課題
藤井小学校	3年	吉田 妃那	ともだち
壬生東小学校	4年	田中 透哉	思いやり
安塚小学校	4年	水本 真菜	思いやり
羽生田小学校	6年	秋沢 千夏	人権尊重
稲葉小学校	6年	根津 京太	人権尊重

●学校賞

壬生北小学校



人権作文

●最優秀賞

「いじめについて考えたこと」

壬生中学校1年

高橋 伽音
たかはし かのん



●優秀賞

学校名

学年

氏名

題名

壬生中学校

3年

戸崎 葵
とさき あおい

思いやりのある
まなざしを持って

●奨励賞

学校名

学年

氏名

題名

南犬飼中学校

2年

小野塚 愛
おのづか あい

心の扉



人権書道の入選作品は壬生中央公民館に展示されました

人権街頭啓発活動を実施

法務省・全国人権擁護委員連合会では、毎年「人権デー」（12月10日）を最終日とする1週間（12月4日～10日）を「人権週間」と定め、世界人権宣言61周年を迎えた今年も「第61回人権週間」として、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を展開しました。そこで、町人権擁護委員協議会では、12月10日に町内のスーパー2カ所において、街頭啓発活動を実施しました。



確定申告は期限内に!!



住民税・所得税の申告は、平成22年2月13日から3月13日（税務署は3月15日）までです。
町では、次の表のとおり各会場において申告受付を実施いたします。
各会場では、午前8時30分に開場し、番号札を配布いたします。
例年、申告期間の終了間際になりますと、各会場が大変混雑しますので、なるべく日程表の該当日に申告くださるよう、よろしくお願いたします。

●●● 壬生町会場 ●●●

月 日	曜日	申告割当地区（大字単位）		会 場
		午前の部	午後の部	
		午前9時～12時	午後1時～午後4時	
2月13日	土	下稲葉	上稲葉	稲葉地区公民館
2月16日	火	羽生田	福和田	
2月17日	水	七ツ石		
2月18日	木	国 谷	助 谷	南犬飼地区公民館
2月19日	金	中 泉・上 田	北小林	
2月20日	土	幸町一丁目～四丁目		
2月23日	火	緑町一丁目～四丁目		
2月24日	水	落合一丁目～三丁目	いずみ町・若草町	
2月25日	木	安 塚 1～1,200番地		
2月26日	金	安 塚 1,201番地～		
2月27日	土	あけぼの町・寿 町	おもちゃのまち一丁目～四丁目	
3月 2日	火	壬生丁 1～159番地		壬生中央公民館
3月 3日	水	壬生丁 160番地～		
3月 4日	木	壬生甲	壬生乙	
3月 5日	金	中央町・通 町	大師町	
3月 6日	土	至宝一丁目～三丁目・壬生丙		
3月 9日	火	表 町	藤 井	
3月10日	水	元 町	駅東町	
3月11日	木	本丸一丁目・二丁目		
3月12日	金	町内全地区		
3月13日	土	町内全地区		

申告会場の開場および番号札の配布

開場の時間は午前8時30分です。開場後に番号札を配布いたします。

申告割当地区

申告日につきましては、地区割（大字単位）で指定しておりますが、ご都合が悪い場合は、割当地区以外でも申告を受付できます。

次の方は町会場での申告受付はできませんので、税務署会場において確定申告をすることになります

また、下記以外でも申告内容により税務署会場で確定申告をする必要がある場合があります。

- 個人売買等による譲渡所得（土地・家屋・株券等）がある方
- 青色申告をされている方

※ 栃木税務署の確定申告会場は栃木商工会議所大ホールになります。

お持ちいただく書類等

- ① 印鑑
- ② 源泉徴収票（コピーではなく必ず原本をお持ちください。）
- ③ 生命保険料や地震保険料等（地震保険料及び旧長期損害保険料）の控除証明書
- ④ 社会保険料（国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・国民年金保険料等）の領収書
※ 社会保険料のうち国民年金保険料は、控除を受ける場合に証明書類を添付または提示する必要がありますので、必ずご持参ください。
- ⑤ その他所得控除や税額控除を受けるのに必要な書類
- ⑥ 金融機関の口座番号の控え（申告者ご本人名義のもの）等



★ 問合せ先

町総務部税務課町民税係

☎ 81-1817-1879

新成人の皆さん忘れずに 国民年金の加入手続きをしましょう

国民年金制度は、老後の所得保障だけではなく、万が一のときにも年金を支給し、生活の安定を図ることを目的とした制度です。20歳から60歳までの方は、どなたも国民年金に加入いただくことになっています。厚生年金や共済組合に加入されている方も国民年金に入っていますが、手続や保険料の納め方は次のように種類によって違います。この制度に加入し保険料を納めないと、お年寄りになったときの「老齢基礎年金」、病気やケガ等で働けなくなったりしたときの「障害基礎年金」等、必要な年金がうけられなくなってしまいます。第1号加入者の方は、納付が難しい場合、所得基準や失業の特例によって受けられる免除制度・学生納付特例制度等がありますので、申請いただき承認を受けることが必要です。

加入者は
右の
3種類です

種別	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
加入者	自営業者・学生など (会社等を辞めたときは、 加入手続が必要です)	会社員・公務員等	会社員・公務員等に扶養されて いる配偶者(妻又は夫)
保険料	納付書・口座振替等	給料・ボーナスから	配偶者の年金制度から拠出
手続先	役場町民生活課 稲葉・南犬飼出張所	勤務先	配偶者の勤務先

基礎年金番号

ご加入いただきますと基礎年金番号が付番され、年金手帳が交付されます。この番号は、共済組合・厚生年金の加入者及び年金受給者になられても一生をとおして使用する番号です。

国民年金保険料

第1号被保険者の月々の保険料は14,660円(平成21年度)

国民年金保険料の納め方

- ★口座振替・・・1ヶ月分(翌月末払・当月末払『50円割引』)・6ヶ月分前納・1年前納
- ★クレジットカード納付・・・1ヶ月分・6ヶ月分前納・1年前納
- ★納付書払い(金融機関・郵便局・コンビニの窓口で)・・・各月・希望月から前納可能

※前納割引額は、納付書・クレジットカード納付6ヶ月分は710円で、1年前納は3,120円です。

※口座振替の前納割引額は、最もお得で6ヶ月分は1,000円で、1年前納は3,690円です。

※口座振替日は、1年前納・前期6ヶ月前納が4月末日、後期6ヶ月前納が10月末日です。(休日の場合翌営業日が振替日です。)口座振替・クレジットカード納付のお申込は、振替2ヶ月前までに年金事務所で登録を完了させなければなりません。

保険料を納めることが難しいとき 未納は、障害・遺族年金の受給資格期間になれません

- ① 全額・一部納付免除申請……………一部納付の免除は、納付しなければ未納扱いとなります。
本人・配偶者・世帯主の前年所得(1月～6月までに申請される時は前々年所得)が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が全額免除又は一部納付になります。
- ② 若年者納付猶予申請……………年金額には反映されません
30歳未満の方で本人・配偶者の前年所得(1月～6月までに申請される時は前々年所得)が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が猶予されます。
- ③ 学生納付特例申請……………年金額には反映されません
学生の方で本人の前年所得(1月～3月までに申請される時は前々年所得)が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が猶予されます。
※離職者の方は、離職票等の添付により本人所得の特例扱いを受けられます。

将来の年金額に反映させるには

上記の承認を受けたときは、将来の老齢年金額が減額や反映されない場合があります。そんな時には、10年以内であれば保険料を納めることができる追納制度をご利用ください。承認を受けた翌年度から3年度目以降は加算金がつきますので、お早めの納付がお得です。

◎問合せ先 ●ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165 (IP電話から03-6700-1165)
●栃木年金事務所 国民年金課 ☎22-6074
●町民生部保険環境課国民年金係 ☎81-1827

ご家族おそろいでお出かけください。入場無料!!

2/20日(土)・21日(日) 時間：9:00～17:00
会場：壬生中央公民館

ロビー

お茶席

2/21(日) 10:00～15:00

お気軽にご利用ください。1席200円

第20回壬生町消費生活展

(壬生町消費者友の会)

2/20(土)・21(日) 10:00～15:00



テーマ 地球環境はあなたとわたしの足元から

●CO₂を減らす工夫

実演コーナー エコクラフト(ミニかご作り)



◆花の即売コーナー 20・21日

(ガールスカウト)

◆うどん・そば

販売コーナー 21日

(青少年クラブ)

◆その他

※即売した益金の一部を社会福祉のために寄附させていただきます。

ご案内

町歴史民俗資料館「友の会」第17回作品展

- 期 間…………… 2月20日(土)～2月28日(日)
- 会 場…………… 壬生町立歴史民俗資料館研修室
- 内 容…………… 展示品「はにわ、縄文土器、近世壬生の古文書研究」
作品即売「はにわ、土器、アクセサリーなど」
- 神楽の実演…………… 国谷太々神楽保存会 (公民館まつり会場にて)
- 問 合 せ 先…………… 町歴史民俗資料館 ☎82-8544

●問合せ先

壬生中央公民館
☎82-0108(代)

稲葉地区公民館
☎82-7374

南犬飼地区公民館
☎86-0031

生活に潤いと楽しさを与える

第22回

公民館まつり

大ホール

■ステージ部門発表会

2/21(日) 9:30~

童謡を歌う集い・大正琴・民舞・新舞踊・少年少女合唱団・太極拳・ハワイアンダンス・いきいき元気体操・バレエ・フォークダンス・コーラス・マジック



中ホール

■作品展

(実演・体験コーナーも有ります)

2/20(土)・21(日) (21日は16:00まで)

ちぎり絵・ふくべ一刀彫・陶芸・籐工芸・押し花絵・和紙人形・日光彫・写真・七宝焼・絵画・編物・書道
・ステンドグラス・水墨画・竹工画・生花・絵手紙
・ガラスアート



主催：第22回壬生町公民館まつり実行委員会

新しい農地制度がスタートしました

〈貸し借りの手続き〉



標準小作料に代わって、農業委員会が地域ごとの賃借料の動向(平均額等)の情報を提供しています。

詳細については、下記までお問い合わせください。

◎問合せ先 壬生町農業委員会事務局・農地調整係 ☎81-1875

「農地法等の一部を改正する法律」が、平成21年12月15日に施行され、

～新しい農地制度は、農地の確保・貸借の促進・効率的な利用を図ります～

1 農地の確保のために

－転用規制が厳しくなりました－

- 許可不要であった、学校、病院等の公共転用も、許可の対象となりました。
- 農用地区域内の農地については、担い手に対する利用の集積に支障を及ぼす恐れがある場合、同区域から除外できなくなりました。

－違反転用に対する罰則が厳しくなりました－

- 罰金額が大幅に引き上げられました。

事 項	現 行	改 正
①違反転用	3年以下の懲役または300万円以下の罰金 (法人は300万円以下の罰金)	3年以下の懲役または300万円以下の罰金 (法人は1億円以下の罰金)
②違反転用における現状回復命令違反	6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金 (法人は30万円以下の罰金)	3年以下の懲役または300万円以下の罰金 (法人は1億円以下の罰金)

2 農地の貸借の促進・効率的な利用

－農地を安心して貸し借りし、効率的に利用できます－

- 農地利用集積円滑化事業の創設により、市町村やJAなどが農地利用集積円滑化団体となり、農地所有者の委任を受けて所有者を代理し、農地の貸し付け等が行えるようになりました。

－共有地が貸し借りしやすくなります－

- 農用地利用集積計画により利用権を設定する際、相続等で複数の方により共有されている農地について、存続期間が5年以内の利用権を設定する場合は、共有持分の1/2を超える同意でよいことになり、利用権が設定しやすくなりました。

－相続税納税猶予の適用農地でも貸せます－

- 農業経営基盤強化促進法に基づいて農地を貸し付けた場合には、相続税納税猶予が継続するようになりました(市街化区域内農地は除く)。ただし、これまでは20年間、自ら営農した場合は、納税が免除となっていました。この改正により貸した場合は、農地としての利用を終身継続する必要があります。

－遊休農地を有効活用する対策が充実されました－

- 農業委員会が年1回の農地の利用状況調査を行い、遊休農地の所有者に対する指導・通知・公告・勧告を行います。

－農地を相続したら届け出が必要になりました－

- 相続等によって農地を取得した方は、農地のある市町村の農業委員会に届け出が必要になりました。

－農地を借りられる者が増えました－

- 一定の条件(※)を満たす農業生産法人以外の法人等も、農地を借りられるようになりました。(所有権の取得は、これまでどおり、「農作業に常時従事する個人」と「農業生産法人」に限られます。)

農地の借り受け者の範囲



- ※①農地を適正に利用していない場合に、解除する旨の条件が付されていること
 ②地域の農業者との話し合いや農道・水路など共同利用施設の取り決めを守るなどし、地域における他の農業者との適切な役割分担をすること
 ③長期的に安定的な農業経営の継続を可能とする機械や労働力を確保すること
 ④法人の場合は、業務執行役員(取締役、理事、執行役、支店長等)の1人以上が耕作等の事業に常時従事すること

この条件を満たしているか、毎年、農業委員会等がチェックします

レジ袋削減のため

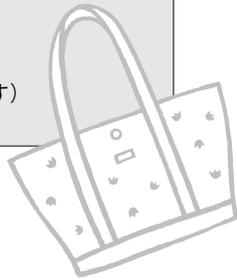
「レジ袋無料配布の中止」が行われます

レジ袋削減の取組を、環境にやさしいライフスタイルへ変えるきっかけとし、県民総ぐるみの地球温暖化対策へとつなげていくため、事業者、県、市町、消費者団体との協定により、次の店舗において平成22年2月1日からレジ袋の無料配布が中止されます。県民の皆様には、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

取組協力店舗 (50音順)

- ・エコス
- ・カスミ
- ・さかいりショッパーズ
- ・塩原屋
- ・シティマーケットうおまつ
- ・シンユーストア
- ・ダイユー
- ・とちぎコープ (ミニコープ)
- ・栃木県職員生活協同組合
- ・パワーマート
- ・プラッツおおひら
- ・三柵屋

(※一部の店舗を除きます)



Q レジ袋を削減するとどれくらいCO₂が減らせるの？

A レジ袋の製造、加工、焼却により排出されるCO₂の量は、1枚当たり約47グラムとされています。

栃木県内のレジ袋消費量は年間約4億8千万枚ですので、これを8割(約3億8千万枚)削減したとすると、県全体で年間約1万8千トンのCO₂を削減できることになります。

これは、3,600ヘクタールの50年生スギ人工林が1年間に吸収するCO₂量に相当します。

マイ・バッグ使用のマナー

- お買い物の最中は折りたたんでおきましょう。
- 買うものは、お店に備え付けの買い物かごに入れてみましょう。
- レジを渡ってからマイ・バッグを使いましょう。
- お店の買い物かごは決められた場所に戻しましょう。

「地球と人にやさしい“エコとちぎ”づくり県民宣言」

はじめよう！ みんなの力で
つなげよう！ 未来のとちぎへ
ひろげよう！ 地球のために

12月5日、マロニエプラザにおいて「とちぎ環境県民大会」が開催され、エコとちぎへの道筋を確かなものとし、未来の子どもたちにつないでいくために、私たち栃木県民は、思いを一つにし、知恵を出し合い、力を合わせて、次のことに取り組んでいくことを宣言しました。



- 1 ふるさとの恵みに感謝し、環境にやさしい暮らしを楽しみます。
- 2 ごみを減らし、ごみを捨てず、ごみを拾い、日本一きれいな“とちぎ”にします。
- 3 水やもの、電気などを大切に使い、限りある資源を未来へ残します。
- 4 木を植え、木を育て、木を使い、“とちぎ”の元気な森をはぐくみます。
- 5 身近な里山や川を守り育て、豊かな自然を将来に引き継ぎます。
- 6 みんなが誇りを持ってエコに取り組み、“とちぎ”から地球を元気にします。

2010年
2月6日 〔土〕
3月14日 〔日〕

壬生 劍客伝

壬生町立歴史民俗資料館

開館時間 午前9時—午後5時（但し、火曜日は午後1時から）
休館日 月曜日

主催 壬生町、壬生町立歴史民俗資料館

観覧料 一般200円、中学生以下無料

〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33

（東武宇都宮線壬生駅下車、壬生城址公園内）

TEL 0282-8278544

高杉晋作肖像画（写真）（部分）港区立郷土資料館
江川英龍画 練兵館旧蔵 『鷹之図』（部分）水見市教育委員会



幕末の

風雲児、

高杉晋作が

挑む

壬生 剣客伝

幕末の 風雲児、 高杉晋作が 挑む



高杉晋作の稽古胴 | 萩博物館



高杉晋作「試撃行日譜」 | 萩博物館

壬生は「神道無念流剣術」の流祖福井兵右衛門の出身地で剣術が盛んな藩であり、また時の藩主が武芸を奨励したことにより、数多の剣客を輩出したところでもあります。さらに藩士教育を目的に開設された藩校〈学習館〉の『校則』に「文武共に求精、成徳達材」とあるように、文武両道の考えのもと、武芸も単に技術としてではなく武士としての心身鍛練の方法として考えられてきました。武芸は、学問の理念や知識と不可分の、武士として必須のたしなみでした。

その影響下、弘化四年（一八四七）剣聖斎藤弥九郎は、自らが主宰した江戸三大道場の一つ神道無念流〈練兵館道場〉の四天王といわれた野原正一郎を、弥九郎長男新太郎の約三年にわたる諸国修行に同行させています。また、文久二年（一八六二）長州藩毛利元徳の命により〈勇士組〉が編成されるに当たっても、弥九郎門下から正一郎と那須唯一が選ばれています。

そして万延元年（一八六〇）、風雲児高杉晋作が『試撃行』の途中、壬生を訪れ手合わせをしたのも、弥九郎門下であり聖徳太子流の達人であった松本五郎兵衛でした。

なお、後に葦山代官江川英龍の高弟となった友平榮も、天保十二年（一八四一）弥九郎門下の高弟として、水戸〈弘道館〉の開館式で剣術を指南しています。

一方、藩士の神道無念流・聖徳太子流に対して、助谷村の農民糸川政之助は総社村の神新影一円流三代目野中布高より免許を得て、近隣の村々から数多の門人を集め育成に務めていました。

この時の藩主は鳥居忠孝（在職一八二六―一八五七）です。忠孝の治世中は内憂外患に備えるため文武両道が目標として掲げられ、彼本人も武芸に関心が深く、安政年間に桂小五郎を江戸藩邸に呼び出し剣技を見定めています。このように藩主は平素から国家有事に対して備える姿勢を持っていました。

この度の企画展では、松本五郎兵衛、野原正一郎、糸川政之助たち剣客を歴史のワンスーンを彩ったヒーローとしてみるのではなく、それぞれの剣客たちが果たしてきた役割を明らかにし、その歴史的背景を探ります。

講演会 |

日時 2010年2月21日〔日〕
午後2時～4時

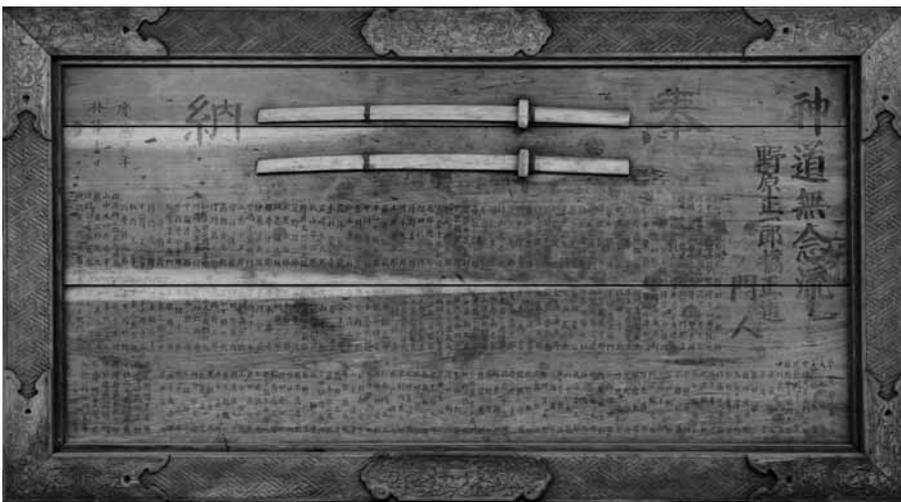
テーマ 「高杉晋作と壬生」

講師 一坂太郎（萩博物館特別学芸員、作家）

会場 城址公園ホール研修室

定員 120名（先着順、聴講ご希望の方は電話にてお申し込みください）

聴講料 無料



野原正一郎正道門人「奉納額」 | 太平山神社



野原正一郎肖像 | 個人蔵



松本五郎兵衛肖像 | 個人蔵



高杉晋作肖像 | 港区立郷土資料館



〔電車〕
JR湘南新宿ライン快速利用、「自治医大」駅下車、タクシーで約15分
JR宇都宮線「自治医大」駅下車、タクシーで約15分
東武宇都宮線「壬生」駅下車、徒歩約10分

〔車〕
東北自動車道→栃木都賀JCT→北関東自動車道
「壬生IC」から車で約10分

壬生町立歴史民俗資料館

栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33（壬生城址公園内）
Tel. 0282-82-8544



「子育て家族応援中」ののぼり旗が目印です。

利用していますか？

「とちぎ笑顔つぎつぎカード」

提示すれば
割引きや
プレゼント！

子育て中のご家族を支援する「とちぎ未来クラブ」発行の「とちぎ笑顔つぎつぎカード」をご利用になりましたか？

本事業に協賛いただいている企業や商店等は、「子育て家族応援中」ののぼり旗とオリジナルプレートが掲示されています。

「とちぎ笑顔つぎつぎカード」を提示することで**割引やお菓子や粗品のプレゼント**などの優待サービスが受けられます。ご利用にあたっては、必ず買い物やご飲食の前にカードを提示してサービス内容をお店の方にご確認ください。

知ってて
お得!!



- 利用対象者 ・18歳未満のお子さまとそのご家族
・妊娠されている方とそのご家族
- 問合せ先 町民生部健康福祉課児童福祉係 ☎81-1883

町内で協賛いただいている企業や商店については、栃木未来クラブ事務局のホームページでご確認願います。



とちぎ未来クラブ

URL パソコン用 <http://www.tochigi-mirai.jp>
携帯電話用 <http://www.tochigi-mirai.jp/m/>

「とちぎの元気な森づくり県民税事業」 の実績と評価について

栃木県では、平成20年度から「とちぎの元気な森づくり県民税」による森林の整備を実施しています。

当町でも、平成20年度に、里山林整備（通学路沿いの下草刈り等）2.75 h a を実施しました。

先日、県民の代表者による「とちぎの元気な森づくり県民税評価委員会（笠原義人委員長）」から、税事業の実施状況についての評価結果が発表になりましたが、栃木県全体において概ね効果的、効率的に執行されているとの評価を頂きました。詳しい内容を知りたい方は、県のホームページをごらんください。

まちのわだい



第9回ファミリーウォークラリー

11月22日、至宝町南自治会（^{まきうちかつお}牧内勝男自治会長）の恒例行事第9回ファミリーウォークラリーが行われ、約200名の会員が参加しました。

国谷駅前からスタートし、中学生の幟旗を先頭に約50分かけてわんぱく公園「風の原っぱ」までウォーキングしました。

風の原っぱでは、手作り飛行機競技や親子ドッジボール大会で大いに盛り上がり、昼食には全員でおにぎりとおけん汁を頂きました。

その後は、子どもたちと高齢者が一緒にふれあえるベーゴマ遊びと中学生が主役の〇×ウルトラクイズを参加者全員で楽しみ、最後に国谷第一公園までウォーキングし、盛大のうちに終了しました。

栃木県民生委員児童委員大会開催

11月26日、第19回栃木県民生委員児童委員大会が、県内各地で活躍する民生委員・児童委員、関係者が一堂に会し、これからの民生委員・児童委員活動の一層の充実を目指すことを目的に宇都宮市文化会館で開催されました。

その席上、長年、民生委員・児童委員として地域福祉の向上に尽力されたことにより次の方が表彰されました。

栃木県民生委員児童委員協議会会長表彰

民生委員・児童委員 石江由美子さん 鈴木邦夫さん 高岩三千代さん 塚本和子さん 梁島貞男さん（50音順）



左から高岩さん、鈴木さん、石江さん、塚本さん、梁島さん



25周年の想いを歌声にのせて

11月29日、壬生中央公民館大ホールにおいて、壬生少年少女合唱団の創立25周年記念チャリティコンサートが開催されました。

野口百合子団長の挨拶に続き、団員21名によるチャイコフスキー作『くるみ割り人形』が、およそ1時間にわたり約300人の観客の前で熱演され、子どもたちの歌やダンス、そして演技に、応援に来た家族や友達からたくさんの拍手が送られました。

会場入口に置かれた（財）日本ユニセフ協会の募金箱には、コンサートに来場した大勢の観客や、休憩に立ち寄った雄琴神社の稚児たちから、心温まるご協力をいただき、52,411円が寄付されました。

壬生町にケーブルテレビが開局!!

光ケーブルテレビ・光インターネット・光電話がいよいよ壬生町でもお使い頂けます！
※開局エリアなどはお問合せ下さい。



栃木ケーブルテレビ TEL:0282-25-1811





プロのコーチに学ぶ サッカー教室

12月6日、壬生町総合公園陸上競技場で浦和レッズレディース監督村松浩氏むらまつひろしを講師に迎え、サッカー教室が行われました。

これは浦和レッズレディースが総合公園陸上競技場をキャンプ地として使用している縁から実現したもので、町内の少年サッカーチームに所属する小学生約30名が参加しました。

トラップ、ドリブル、パスの基本技術を身につけるた

めの練習法を教わった後、グループ対抗でミニゲーム形式の練習を行いました。

村松氏の熱心な指導を受け、参加した子どもたちも真剣に練習に臨んでいました。

日本ゲートボール連合審判功労賞受賞報告

すみかわたくろう
住川卓三さん

12月9日、住川卓三さん(駅東)が日本ゲートボール連合より審判員功労賞を受賞し、受賞の報告に町長室を訪れました。

住川さんは10年以上にわたり、審判員として審判の実務、競技の運営に携わり、壬生町ゲートボール協会競技部長として後進の指導育成に努めると共に、ゲートボールの普及振興に尽力した功績が評価されたものです。



住川さん

清水町長



サンタさんからのいちごのプレゼント

12月10日、とおりまち保育園のクリスマス発表会で、壬生町苺出荷組合青年部(伊藤博部長)いとうひろしの部会員がいちごを園児たちにプレゼントしました。

また、12月11日、壬生町苺出荷組合(中村正組合長)なかむらただしは、いなば保育園にいちごをプレゼントしました。これは、地産地消と食育教育の推進と地元特産のいちごのおいしさを実感してもらうために実施したもので、園児たちは、給食やおやつにいちごをおいしくいただきました。



【経営指導】森口 薫・悦子

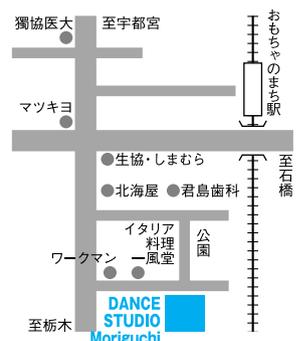
社交ダンスを始めてみませんか！ 初級クラスを開設します

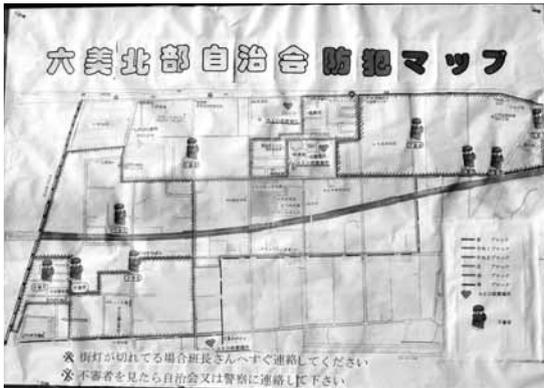
午前の部 11時～12時	午後の部 2時～3時	夜の部 7時～8時
2/12(金)スタート	2/11(木)スタート	2/11(木)スタート
※費用12回(3ヶ月分)前納:12,000円 入会金無料		

お気軽にお問い合わせください。

DANCE STUDIO Moriguchi

壬生町至宝3-8-6 ☎0282(82)8852





六美町北部自治会防犯マップ掲示板の設置

六美町北部自治会（石島松夫自治会長）では、地域の安全・安心活動の一環として「ワンワンパト隊・ワンワン防災会」を立ち上げましたが、更に地域の皆さんに役立つ防犯マップを作成し地区内3カ所に掲示板を設置いたしました。防犯マップには、地域を6ブロックに分けて不審者出没地域・AED設置場所・防災避難場所等が表示されています。

第38回おもちゃ団地チャリティーバザール

12月12・13日の2日間、おもちゃ団地グラウンドをメイン会場に毎冬恒例のおもちゃ団地チャリティーバザールが開催されました。

各企業のテントには、格安で購入できる文具や雑貨、おもちゃなどを求める人が行列を作り、また、グラウンドの中央では、子どもたちに大人気のメタルファイト・ベイブレードのトーナメント大会なども行われました。

会場は、町内だけでなく県外からも多数の親子連れでにぎわい、お気に入りのおもちゃを買ってもらった、笑顔の子どもたちが見られました。



地震防災について考える 城内自治会

12月13日、防災意識の高揚を目的に、城内自治会による地震防災講話・起震車体験が城内公民館で開催されました。

まず、石橋消防組合壬生分署職員による、地震防災講話が、その後起震車体験、消防団第一分団第二部の車両展示も行われ、最後に婦人部が芋煮、体育部・青壮年部が焼きそばで炊き出しを実施し会を締めくくりました。

城内自治会では、春秋の年2回、防災について考えるきっかけづくりをしており、防災に関する知識やいざというときの心構えなど、防災に対する意識が自治会内で根付いているのが感じられました。

少年柔道大会で好成績

12月13日、宇都宮市において開催された、第3回北総警杯少年柔道学年別・体重別選手権大会（12月13日・宇都宮市）に、都賀少年柔道教室所属の池澤亮毅君（壬生小4年）と梁島大輝君（壬生小4年）が出場し、ともに第3位に入賞しました。2人はその他、全国大会の団体戦や個人戦でも上位に入賞するなど、今後の活躍が期待されます。



池澤君

梁島君



子育て支援センター☆ひよこ☆ ファミサポ合同クリスマス交流会開催

12月19日、保健福祉センターにおいて、ひよこ利用者親子、ファミサポ会員親子の合同クリスマス会が開催されました。

第一部の「親子エアロビクス」では、親子一緒にリズムに合わせて体を動かし、子どもたちは、「くすぐりっこ」や「たかいたかい」に大きな歓声をあげ「もっとやって！」とせがむ姿があちこちで見られ、パパたちもそれにこたえ、息をはずませて頑張りました。

第二部では、ボランティアサークル「かたつむり」による手話うた「赤鼻のトナカイ」や民生委員劇団「めんどり」によるベルハーモニー「諸人こぞりて」の演奏を聴き、最後にサンタさんからのプレゼントにクリスマス気分は最高潮、子どもたちは大喜びでした。

農林水産大臣表彰 た なかかず お 田中一男氏

このたび、田中一男氏が昭和44年7月より長きにわたり、農業委員会等に関する法律に基づく農業委員会の事務の遂行に関し功績が顕著な農業委員として、農林水産大臣から表彰され、12月16日に栃木県知事から表彰状の伝達を受けました。



おもちゃ博物館クリスマスイベント

12月23日、おもちゃ博物館において毎年恒例のクリスマスイベントが開催されました。

今年は、景品がもらえる射的・的当て・回転輪投げの無料ゲームコーナーやトランポリン、おもちゃハウスが特設されたほかに、記念品がもらえるスタンプラリーも行われ、多くの家族連れが来場しました。

また、博物館ロビーには約1,000個のぬいぐるみクリスマスツリーが設置され、クリスマス前の休日を楽しむ人々を出迎えました。



防犯診断実施

年末年始特別警戒期間中の12月、防犯意識の高揚を図ることを目的に、壬生地区、稲葉地区、南犬飼地区、睦地区も各防犯組合加入の自治会による防犯診断が実施されました。

壬生町では車上狙い、自転車盗難などの身近な犯罪がまだまだ多く、常に注意をお願いします。

毎年診断を実施しておりますが、未だに施錠していない車や自転車があるとのこと、施錠していないと、車上荒らしや自転車盗難の原因となります。必ず施錠をお願いします。



まちのわだい



むつみの森にケーキのプレゼント

12月25日、授産施設むつみの森において、いちご生産農家からいちごといちごケーキのプレゼントがありました。

ケーキをプレゼントしたのは、いちご生産農家の中村^{なかむら}正さん、梁島源智^{やなしまもとりのり}さん、坂田和信^{さかたかずのぶ}さん、葭葉光^{よしはのひかる}さんで、いちごの出荷に使う箱折りをむつみの森に委託していることから、日頃のお礼にと昨年引き続き、ケーキのプレゼントを企画しました。

また、24日にも、開所以来作業を受注しているキョウシン産業^{きょうしんさんぎょう}（小林廣美代表）からケーキをプレゼントされ、2日続けての嬉しい贈り物に、利用者は大きな歓声をあげ、お返しとして10月から製造を始めたいちごジャムと、そのジャムを使った缶入りパンを手渡しました。

みんなで楽しく読み聞かせ 『ゆめのページ』

12月26日、読み聞かせボランティア『ゆめのページ^{いとうみ}（伊藤美鈴代表）』による、特別読み聞かせイベントが行われました。

普段、安塚小学校の朝の読書の時間に読み聞かせのボランティアを行っている『ゆめのページ』ですが、この日は、子どもたちに純粋にお話の楽しさを感じてもらおうと、安塚地区コミュニティセンターに場所を移し、昔話をテーマに読み聞かせが行われました。

手作り紙芝居や語り、マグネットを使ったパネルシアターなど、様々の趣向をこらした読み聞かせに、子どもたちにとってお話に夢中になった楽しい時間となりました。



おもちゃ博物館お正月特別開館

1月3日・4日の2日間、毎年恒例のおもちゃ博物館お正月特別開館が行われました。

館内では、各所に和風や中国風が展示され、オリジナル羽子板作りや手作り凧教室といったお正月ならではのイベントが行われ、親子でオリジナルの羽子板や凧作りを楽しんでいました。

また、別館では、お楽しみ抽選会や、琉球國祭り太鼓栃木支部によるエイサーの演舞も行われ、皆さんお正月を満喫していました。



ドラマ『曲げられない女』の撮影が行われました

12月20・21日の2日間、壬生町東雲公園において、ドラマ『曲げられない女』の撮影が行われました。

公園内のしののめさくら橋で、第1話の菅野美穂^{かんのみほ}さん演じる主人公「荻原早紀^{おぎわらさき}」が塚本高史^{つかもとたかし}さん演じる「坂本正登^{さかもと}」からプロポーズされるシーンと主人公が弁護士を目指すきっかけとなる重要なシーンが撮影されました。この撮影には町の商工会青年部の協力を得て募った女性2名がエキストラとして参加しました。



ドラマ『曲げられない女』は、1月13日より毎週水曜夜10時から日本テレビにて放送中です。

風邪にも負けず407人が激走!

第18回 壬生町健康ロードレース大会



第18回壬生町健康ロードレース大会が12月13日、総合公園陸上競技場を発着点に、407人が健脚を競いました。今回は新型インフルエンザ流行の影響が心配されましたが、小倉則男さん・久典君（壬生東小3年）親子の力強い宣誓で始まり、各レースとも寒さも吹き飛ばす激走が展開されました。

各部門で優勝された方は下記の方々です。

優勝者

● 第1スタート (3km)	小学生男子 秋幡 昇竜	11分32秒
● 小学生女子 関口 茉奈	12分22秒	
● 第2スタート (3km)	中学生女子 荒川 さゆり	12分29秒
● 一般女子 阿部 瑤子	11分21秒	
● 一般男子 (40歳以上) 中川 均	10分43秒	
● 第3スタート (6km)	中学生男子 増淵 友徳	20分37秒
● 一般男子 高畑 武	20分44秒	
● 第4スタート (2km)	親子ペア 佐藤 譲・勇太	8分01秒



優勝者のみなさん



フラゴラチームのみなさん

3チームが 勝ち点で並ぶ

第1回

8人制サッカー大会

壬生町体育協会サッカー部主催の第1回8人制サッカー大会が11月1日から隔週日曜日の3日間にわたり4チームのリーグ戦で開催されました。3チームが勝ち点で並び、得失点差で順位が決まるという接戦が展開され、優勝はフラゴラチーム、惜しくも準優勝はピッコロチームでした。

青少年健全育成地域懇談会

～みんなで育てる～

至宝町南自治会

至 宝町南自治会（牧内勝男会長）主催の第10回地域懇談会が12月5日に至宝町自治会公民館で39名の参加を得て開かれました。

当日は、壬生交番所長、青少年健全育成実施委員長、地元町議会議員、町教育長、地元中学校長、地元小学校PTA会長、町防犯連絡協議会長等を招いて行われ、はじめに自治会における青少年健全育成への取組の経過報告があり、その後、宇都宮市姿川第一小学校長小牧明広先生から「みんなで育てる」と題して、不登校対応と教育相談を行った経験をもとに講話をいただきました。

子育てをするときのポイントとして、まず二つの愛をあげら

れました。保護するやさしい愛」と「壁となるきびしい愛」で、これらを徐々に移していくことが大切であり、一人で二役やらなければならない方が多い中で、家族全体で見えていくことが何より重要だとお話がありました。

また、子どもを健全に育てるためのポイントとして、一つ目に「子どもからの発信を感じること」があげられました。子どもは、いくつになっても親に「ちゃんとこっちを向いて」と思っており、様々な要因で不登校や不良になっている子どもでも、親の本気が子どもを変えた例のお話がありました。二つ目に「親から子どもへ願いや価値観を伝える」ことがあげられ



ました。羅針盤（進む方向を示す）と太陽（エネルギーを与える）を例にあげ、子どもが進むべき方向を親がきちんと示し、親がしっかり働いている姿を見せることの大切さや、自分の家はガソリンスタンドのように次の目的地に移す場所であり、その年代でその都度自立させることで、自分でやることの大切さを確認し、社会で役立つ基礎に

なるというお話がありました。

子どもは、親や大人が安心して「依存（頼れる）」できることが必要です。この基盤があるからこそ元気に育ちます。年齢に応じて「自立」していくことは、子育て、教育、健全育成にとつてとても大事なことです。そのためには、次のような手だてが大事だとお話がありました。

- ① 子どもの衣食住に関心をもたせる。
- ② 子どもの成長や変化（よき、自分くずしと自分づくり）に気づく。
- ③ 子どもの成長や変化（よき、自分くずしと自分づくり）を直視する。Ⅱきちんと関わる
- ④ 親、大人からのまじめな対話Ⅱだまさない、嘘をつかない。



- ⑤ 子どもの気持ちや願いに沿ったコミュニケーションをとる。
- ⑥ 親、大人の生き方を見せる、伝える。
- ⑦ 生と死の場面を大事にする。
- ⑧ 自分とたたかえる子に
- ⑨ 自分が好きになれる子に
- ⑩ 子どもの世界を大切にする。
- ⑪ 感動体験(自然、文学作品、共同作業)をさせる
- ⑫ 親、大人、地域のつながりは大きな力

そ

その後、保護者の役割・私たちに出来ることは」と題して、育成会、自治会の皆さんで話し合いを行いました。一つ目に家庭でできることと

して、取り巻いている方々と仲良く(親戚・近所・知人・友人等)、「家庭円満」、「子どもは親の背中を見て育つ」、「躰をしつかり」。二つ目に地域でできることとして、「子どもたちと触れ合う場を多く」、「お父さんが子どもと一緒に参加できる場を多くつくる」、「子どもたちの名前を知る努力」、「笑顔で対応できる風土」。三つ目に学校に對してできることとして、高い目標に向かって挑戦する子どもの応援及び支援、「学校と自治会との情報交換」などがあげられており、充実した話し合いが行われました。

その後、「お父さん、お母さんの役割(家族の役割)」と題して、話し合いを行いました。「良い事したらほめてあげる」、「向かい合って話を聞いてあげる」、「膝の上に乗せて読み聞かせをする」、「家族が一緒になって食事をする時間を作って欲しい」、「目上の人から挨拶をすること」が大切、「会話の時間をとる」等の意見が出ました。

最

後に、話し合いの結果をまとめ、今後の取り組みの申し合わせ事項として、今までの5項目に加え、「家庭でテレビを消せる時間を作る努力をします」(家庭内で会話の時間を作る)』を提案し、決議を採択しました。

自治会では、平成12年12月に第1回の「心の教育懇談会」を開催して以来、うちの子 よその子 至宝の子 みんなで育てて明るい未来」をスローガンに、地域の大人たちが地域の子どもたちを育てて行く活動と活動を続けており、その一環としてこの地域懇談会を毎年行っており、その着実な成果は、先進地区として注目をされています。



地

地域懇談会の開催にあたって実施委員会が後援しております。懇談会のお申し込み、お問い合わせは、教育委員会事務局生涯学習課社会教育係(☎81-1873)まで

の広場



もろあか 諸岡 りの 莉乃ちゃん(H19.1.11生)
あおと 蒼人ちゃん(H16.1.28生)
 (六美町中央)



さかもと 坂本 はると 遥大ちゃん(H17.9.6生)
まなと 真大ちゃん(H20.1.3生)
 (安塚一)



こぼやし 小林 ななみ 七夢ちゃん (H21.1.6生)
 (六美町中央)



おおほし 大橋 ひより ひよりちゃん (H20.1.16生)
 (安塚二)



たかやま 高山 ゆきな 優妃奈ちゃん (H21.1.5生)
 (安塚二)



『はにわ焼き』今年も大成功

歴史民俗資料館友の会「壬生はにわ会」ひとみはるお(人見治男会長)では、
 12月17日定例の埴輪の窯焼きを行いました。

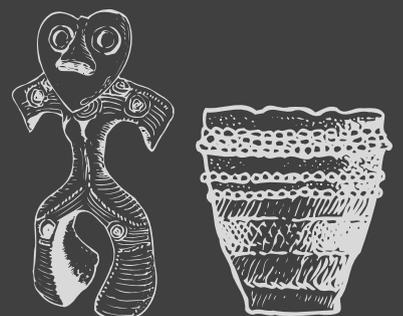
会員の各々が一年間作り上げてきた埴輪を、この日嘉陽が丘
 ふれあい広場にある窯を使い焼き上げました。窯焼きは約5時
 間をかけて、約40体の埴輪を無事に焼き上げました。

作品は3月に開催される「資料館まつり」で展示される予定
 です。

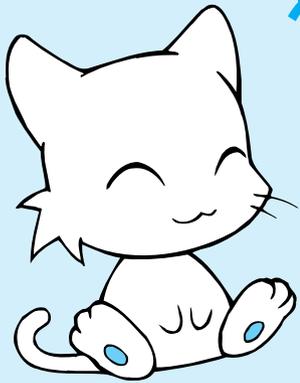
「壬生はにわ会」では、埴輪
 に興味のある方の入会をお待
 ちしています。ぜひ資料館
 までご連絡ください。

壬生町歴史民俗資料館

☎82-8544



みんな



わが家のアイドル

今回は3月生まれのアイドルを募集します。(締切2月19日)写真はお返しします。応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接或は郵便で〒321-0292 壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

Eメールの場合は上記必要事項を記入し、企画財政課情報広報係宛 (info@town.mibu.tochigi.jp) へメールしてください。



上野 結愛ちゃん (H21.1.27生)
(六美町北部)



和貝 基嗣ちゃん (H18.1.9生)
(城東町)



白川 颯姫ちゃん (H19.1.17生)
(安塚三)

平成18年度、民間の開発に伴い発掘調査を実施した結果、今から約1600年前の古墳時代の家の跡から、鉄製品が2点出土しました。一点は「槍鉋」といわれる物を削る道具と残る一点は鉄鏃(鉄製の矢の先)です。竪穴式の住居跡は一辺が約7mを測り、地表面を約40cmほど掘り下げて造られていました。柱穴は対角線上に4本配置され、住居の中心には炉が作られていました。住居は故意に燃やされた痕跡があり、炭化した多くの木材が出土しており、いっしょに多くの土器も出土していますがそのほとんどは壊れた土器でした。何らかの理由で住居を燃やし、使える土器は持ち去ったものと考えられます。

鉄は弥生時代に大陸から日本に伝わったとされていますが、現在

第4回『吾妻遺跡』 壬生町、最古の鉄製品

歴史民俗資料館だより

「吾妻遺跡」は、現在の藤井地区にある吾妻工業専用地区内にある遺跡です。遺跡は東側に低地を見下ろす台地上に広がっています。現在までに、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡が発見されています。

の壬生町の弥生時代の遺跡からはまだ発見されていません。ここで疑問な点は、何故この時代まだまだ貴重であった鉄製品を燃やした住居に残していたのか、よほど急いで立ち去らなければならぬ理由があったのかも知れません。

いづれにしても、この2点の鉄製品は今のところ壬生町において発見された最古の鉄製品と言えます。



写真2 住居跡の前景



写真1 右: 槍鉋 (長さ9cm)
左: 鉄鏃 (長さ5.5cm)

問合せ先

歴史民俗資料館
☎ 82-8544

みんなでペタンペタン児童館餅つき会

12月12日、児童館において、恒例の餅つき会がおこなわれました。

臼と杵を使った昔ながらの本格的な餅つきに、子どもたちは杵を振りおろすときの「ヨイショ」と大きなかけ声をかけ、また、実際に餅つきに挑戦する際には、杵を一人で持てないため、ボランティアの民生委員や母親クラブ、壬生高校生徒と一緒に手を添えてもらって、一生懸命、餅をつきあげました。

餅つきの後はカルタ取り大会をしたり、つきたての餅をお雑煮やきなこ餅、あんころ餅にして食べたりして、子どもたちにとって大喜びの一日になりました。



寄付

◆社会福祉協議会へ

(○数字は寄付回数)

- 羽生田西部親睦会様⑤⑥ …………… 3千円
- ダンス木曜会様③② …………… 6千円
- 下表町おたのしみ会様④ …………… 1万5千円
- おのづかみちか 大山武夫様② …………… 2千688円
- 匿名① …………… 1万円



絵画「そらとぶわたしとくじゃく」

壬生北小 2年
きくち りな
菊地 理菜

—お詫びと訂正—

広報壬生12月号6頁において児童の名前に誤りがありました。「小野塚愛」とありましたが、正しくは「小野塚あま」です。お詫びして訂正いたします。

また、12頁において年金定期便専用ダイヤルの電話番号に誤りがありました。「☎570-058-555」とありましたが、正しくは「☎0570」です。お詫びして訂正いたします。



表紙の写真
2010年の初日の出。
「道の駅みぶ」を照らす未来への輝きを
写真におさめることができました。

2月の納税等

- 固定資産税・都市計画税 (4期)
- 国民健康保険税 (8期)
- 介護保険料 (8期)
- 後期高齢者医療保険料 (8期)

納期限 3月1日

私の作品



壬生北小 2年
みやもり らいき
宮森 頼希

絵画「みずうみときりん」

